



ESJ 73 京都

2026.03.11-15

Kyoto

前半と後半で会場が変わります。

11～13日：[京都大学吉田キャンパス吉田南構内](#)

14～15日：[国立京都国際会館](#)

[【大会プラットフォーム（らくらくカンファレンス）】](#)

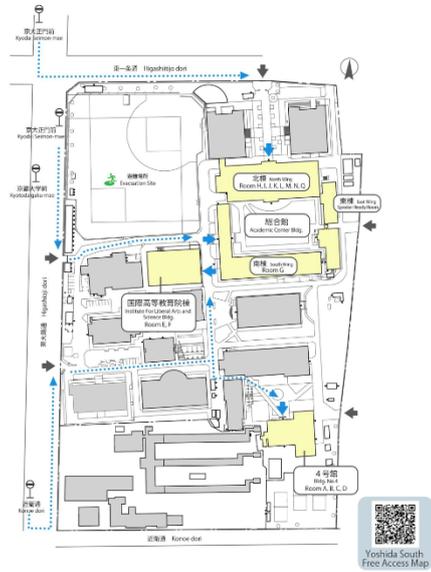
目次

項目名を押すと、対象のページに移動します。

目次	2
会場地図：京都大学吉田南キャンパス	3
会場地図：京都国際会館	4
大会日程	5
口頭発表プログラム	7
3月11日	7
3月12日	9
3月13日	11
参加にあたって	13
大会受付に関して	13
クロークに関して	13
ミキサー（懇親会）	13
休憩室・飲食・ゴミに関して	14
会場のWi-Fi環境	14
場内設備の開設時間	15
発表にあたって	15
口頭発表	15
ポスター発表	16
育児支援	17
子連れマップ：京都大学吉田南キャンパス	18
子連れマップ：京都国際会館	19
会場へのアクセス	20
11-13日：京都大学吉田南構内へのアクセス	21
14-15日：国立京都国際会館へのアクセス	21
その他	22
配信に向けた会場での録画について	22
災害時の避難所	22
大会行動規範	22
大会組織	23

会場地図：京都大学吉田南キャンパス

京都大学 吉田南キャンパス 構内図
Kyoto University Yoshida-South Campus Map



国際高等教育院棟

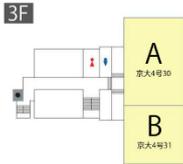
Institute For Liberal Arts and Science Bldg.



- 多目的トイレ (おむつ替えスペース:1F)
Multipurpose Restroom (Baby care facility:1F)
- エレベーター
Elevator

4号館

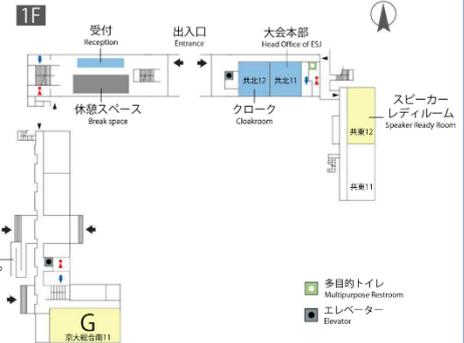
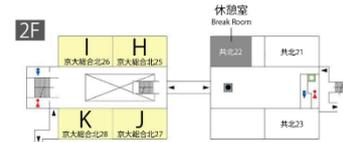
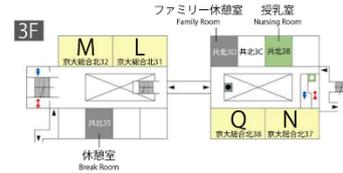
Bldg. No.4



- 多目的トイレ
Multipurpose Restroom
- エレベーター
Elevator

総合館

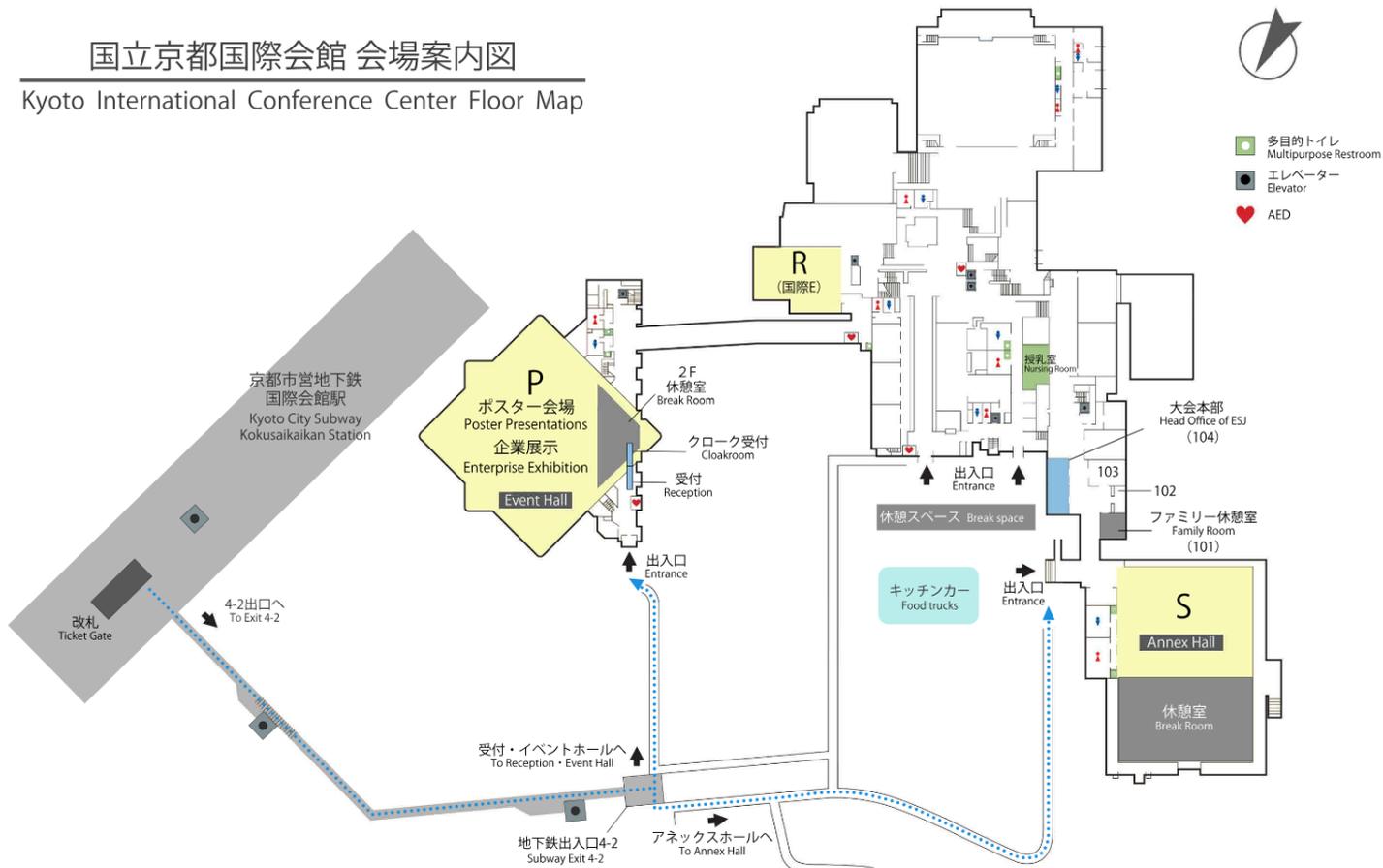
Academic Center Bldg.



- 多目的トイレ
Multipurpose Restroom
- エレベーター
Elevator

会場地図：京都国際会館

国立京都国際会館 会場案内図
Kyoto International Conference Center Floor Map



大会日程

ESJ73 大会日程

※ 2025年12月15日

S:シンポジウム W:自由集会 口頭発表 E 英語口頭発表 E English session

3月11日[水] 京都大学吉田キャンパス吉田南構内

会場	12:00	14:00	15:00	19:15
総合館北棟	H 共北25			行動
	I 共北26			E Conservation 保全
	J 共北27			進化 E Evolution
	K 共北28		口頭発表	E Animal-plant interaction 動物と植物の相互関係
	L 共北31			E Ecosystem management 生態系管理
	M 共北32			E Biodiversity 生物多様性
	N 共北37			群落 E Plant community
	Q 共北38			E Plant ecophysiology 植物生理生態
スピーカーレディールーム 共東12	口頭発表ファイル受付			
会場	12:00	14:00	15:00	19:15

3月12日[木] 京都大学吉田キャンパス吉田南構内

会場	9:00	12:15	14:00	17:15	19:00	20:30
4号館	A 4共30	S01 デジタルバイオスフェア	W01 ネイチャーポジティブを導く生物多様性指標	S08 2030年ネイチャーポジティブとJBO4中間提言	W09 植物フェノミクス研究の新展開	W19 生態系オミクス
	B 4共31	S02 自然再生マニュアル	W02 雪に生きる樹木の生態	S09 大阪公立大学附属植物園 樹林型共通圏場	W10 リズム生態学への招待	W20 地域でのモデリングと実践のつながり
	C 4共21	S03 進化生態学における化石研究の可能性	W03 動物の二次防衛	S10 多階層生態現象を情報科学的手法で紐解く	W11 共生関係のダイナミクス	W21 動物の移動能力の普遍性と多様性
	D 4共11	S04 絶滅危惧種の保全とお金の話	W04 ワールドポスター@京都	S11 脂肪酸がつなぐマルチスケール生態学	W12 認識が生み出す進化の多様性に迫る	W22 温暖化に対する生理生態学的応答
国際高等教育院棟	E 講義室 32	S05 魚類行動生態学における方法論的課題と展望	W05 これからのJaLTERデータベース	S12 地質・土壌発達・多様性	W13 恐れとストレスの野生動物学	W23 海浜植物の生態学
	F 講義室 31	S06 微生物で生態学	E W06 Community projection and adaptive dynamics in R	S13 東日本大震災の30年後を考える	W14 島嶼生物学	W24 JBON集会
総合館南棟	G 共南11	E S07 Seasonally dry forests of Madagascar as a world heritage	W07 コツメカワウソを象徴種とした生物共生農業		W15 「湧水生態学」ことはじめ	W25 再エネによる植生影響
総合館北棟	H 共北25		W08 やってみよう! 「かたち」の定量解析	E Material cycling	W16 災害後モニタリングの再考	E W26 Frontiers in Deep-Sea Exploration
	I 共北26			保全 E 遷移・更新	*オンデマンド配信なし W17 欠測データ	*オンデマンド配信なし W27 表現型解析最前線:形態解析の基礎と応用
	J 共北27			菌類・微生物 E Fungi and microbes	*オンデマンド配信なし W18 人とともに歩んできた半自然草原	*オンデマンド配信なし W28 若手で考える、これからの生物多様性保全
	K 共北28		口頭発表	E Animal population 動物と植物の相互関係		
	L 共北31			行動 E Behavior		
	M 共北32			外来種 植物 個体群		
	N 共北37			進化 動物生活史		
	Q 共北38			動物群集		
スピーカーレディールーム 共東12	口頭発表ファイル受付					
会場	10:00	12:00	14:00	17:15	19:00	20:30

ESJ73 大会日程

S:シンポジウム W:自由集会 U:フォーラム 口頭発表 E 英語口頭発表

E English session S 公募セッション

3月13日[金] 京都大学吉田キャンパス吉田南構内

会場		9:00	12:15	13:00	14:00	17:15	18:45
4号館	A 4共30	S14 種内適応荷重	U01 「ネイチャーポジティブの 評価」最前線		S23 流域NbS	W29 実験と理論から迫る生 態・進化プロセス	
	B 4共31	S15 分子記憶	U02 英文書籍を出版し よう! Part 3		S24 熱帯雨林の歴史生態学とは	W30 化学生態学集会	
	C 4共21	S16 森林生態系における 中大型哺乳類と物質動態	U03 野外調査に初めて行く 人のための安全講習		S25 外来魚問題	W31 受精遅延から探る 生物の季節適応	
	D 4共11	E S17 Data Science Frontiers in Ecology	U04 国際的な活躍を志す次 世代の若者へのすすめ		*オンデマンド配信なし E S26 Biodiversity and ecosystem functioning	W32 ラブ魂XI	
国際高等 教育院棟	E 講義室 32	S18 水田の温室効果ガスと生物多様性			*オンデマンド配信なし S27 感染症生態学	W33 生物の“お国柄”を 解く	
	F 講義室 31	S S19 延長された表現型の生物学	S 口頭 発表		*オンデマンド配信なし S28 植物-昆虫相互作用の最前線	W34 里地の希少種保全	
総合館南棟	G 共南11	*オンデマンド配信なし S S20 人と自然の調和を考える生態学		S 口頭 発表	S E Human Dimension S 人と自然		
	H 共北25	S E S21 Exploring Adaptive and Sustainable Wildlife Trade Governance	S 口頭 発表		植物個体群 E Plant population	W35 芦生研究林の良さ を語りたい	
総合館北棟	I 共北26	*オンデマンド配信なし E S22 Stabilizing power of biodiversity on ecosystem functioning			動物繁殖 E Animal reprodu ction	*オンデマンド配信なし E W36 Speak English!	
	J 共北27			口頭 発表	E Plant reproduction 植物繁殖 植物 生活史	*オンデマンド配信なし W37 生態系イノベーション	
	K 共北28				動物個体群 物質循環		
	L 共北31				E 数理		
	M 共北32				E Landscape ecology 景観 教育普及		
スピーカー デールーム 共東12		口頭発表ファイル受付					
会場		10:00	12:00	13:00	14:00	17:15	18:45

3月14日[土] 京都国際会館

会場		9:00	10:30	12:00	14:00	16:30	18:00	19:30
S Annex Hall	総会		授賞式・受賞記 念講演(学会賞)		受賞記念講演 (宮地賞・鈴木賞・大島賞・自然史賞)			
R Room E					*オンデマンド配信なし U05 相談・交流会(モアイ)			
P イベントホール			ポスター 発表	ポスター 発表	ポスター発表(賞対象、公募セッション)			
							ミキサー	
会場			11:00	12:00	14:00	16:30	18:00	19:30

3月15日[日] 京都国際会館

会場		9:00	12:15	14:00	17:00	
S Annex Hall	E S29 The Old-Growth Values of Semi- Natural Ecosystems			公開講演会		
R Room E	U06 みんなに伝えたい 生態学の知とは?		*オンデマンド配信なし U07 科研費の仕組みと審査	ジュニア生態学 講座		
P イベントホール	ポスター発表(一般)	ポスター発表	ポスター発表(一般)			
	ジュニアポスター発表	ジュニアポスター 発表	ジュニアポスター発表			
	企業展示					
会場		9:00	11:00	12:00	14:00	17:00

口頭発表プログラム

3月11日

口頭発表 3/11(Wed) 15:00-17:00

青色の発表:英語セッション

※ 2025年12月15日版

* 講演者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/73/oral_index.html> にてご確認ください。

Room	H 共北25	I 共北26	J 共北27	K 共北28	L 共北31	M 共北32	N 共北37	Q 共北38
Time	行動	保全 / Conservation	進化	動物と植物の相互関係 / Animal-plant interaction	生態系管理 / Ecosystem management	生物多様性 / Biodiversity	群落 / Plant community	植物生理生態 / Plant ecophysiology
15:00	H01-01 ミナミコメツキガ 二集団逃避行動 の定量解析 上杉 佑人 (東京 大学)	I01-01 Evaluating Climate Risk Pathways for Pacific Bluefin Tuna (<i>Thunnus orientalis</i>) Using Habitat and Trait-Based Metrics in the North Pacific Ocean Matthew DURANT (Tohoku Univ.)	J01-01 小笠原諸島のヒメカ タゾウムシ類の遺伝 子解析—新たな “反復適応放散”の 可能性— 苅部 治紀 (神奈川 県立博物館)	K01-01 How is floral scent adapted to attract specific pollinators of Asarum sect. Heterotropa? Anna Kamenova VALCHANOVA (東 大・理)	L01-01 Assessment of UAV-LIDAR-based methods for individual tree segmentation: Case studies from northern forests of Japan Kyaw Kyaw HTOO (Hokkaido University)	M01-01 Response diversity and stability in experimental floating macrophyte assemblages using automated image classification Samuel Robert Peter- James ROSS (OIST)	N01-01 歴史の古い草原 の根系が表層崩 壊防止機能に与 える影響—多地 点解析— 寺嶋 悠人 (筑波 大学・山岳セ)	Q01-01 深層学習を用いた 画像解析で得られ たヒノキ細根の月別 変化量とその決定 要因の検討 吉田 陽向 (名古屋 大学)
15:15	H01-02 自由遊泳するア カウミガメの潜水 初期における心 拍数の一時的な 低下 青田 幸大 (東京 大学)	I01-02 Systematic mapping of direct anthropogenic pressures on terrestrial biodiversity Cathleen Ludivine PETIT (CESAB - FRB,Kyoto University)	J01-02 単為生殖ナフシに おける稀なオスは 進化的な意味を持 つのか? 野崎 友成 (基礎生 物学研究所,総合研 究大学)	K01-02 Between Birch and Berries: Dietary Niche Partitioning Between Sympatric Alpine Herbivore Birds Saria SATO BAJRACHARYA (Nord University)	L01-02 Environmental Determinants of Stream Nitrate Concentrations in Undisturbed Mountain Streams of Kyushu Main Island Nay Lin MAUNG (Kyoto University)	M01-02 On the survey of poultry lice (Insecta: Phthiraptera) fauna in Taiwan since Sugimoto Masaatsu Chao-jung LIANG (Department of Entomology,Natio nal Taiwan Univ.)	N01-02 中国地方の小規模 湿原における植生 と環境条件の関係 —唐川湿原を例と して— 久保田 憲 (鳥取大 学・院・連農)	Q01-02 Leaves as an internal phosphorus source for reproduction in Japanese beech 辻井 悠希 (森林総 研)
15:30	H01-03 ハヤブサの高速空 中戦における機動 力および攻撃力の 両立メカニズム 菊地 デイル 万次郎 (東京農業大学)	I01-03 絶滅危惧種二ホ ンザリガニの過去 約20年間の局所 絶滅に関する定 量的評価 賈 イ (北海道大 学)	J01-03 羽化時刻分布の 雌雄差がオスの 二型を進化させる 久保 日嵩 (北海 道大学)	K01-03 Pigeon-fruit interactions: A global overview 安藤 温子 (NIES)	L01-03 Modeling Stand Growth in South Korea Using a Diameter Class- Based Approach Jae-ah LEE (Korea University)	M01-03 Mapping functional diversity and redundancy in bumblebees using species distribution models and kernel density hypervolumes Megan mei yan LOW (Tohoku Univ.)	N01-03 日本の異なる森林 タイプにおける機能 形質の垂直変化と 地上部バイオマス動 態との関係 策 勒格ル (大阪公 立大学)	Q01-03 Directional asymmetry of epigenetic memory and adaptive reprogramming in mangrove trees under changing salinity Matin MIRYEGANEH (OIST)
15:45	H01-04 ホンヤドカリとテナ ガツノヤドカリの対 照的な捕食者反 応:驚動反応時間の 解析より 古賀 庸憲 (名歌山 大学)	I01-04 The Feedback Loop of the Extinction of Experience: Evidence from Parents and Children's Nature Experiences in Vietnam. Van Mai TRUONG (Hiroshima University)	J01-04 シヨウジョウバエに おける訪花性の進 化をもたらす色選 好性と視覚システム の適応 桂 宗広 (名古屋大 学)	K01-04 密接な送粉共生系 の地理的モザイク を利用したイフボタン 列の花形質多様化 要因の解明 山口 万里花 (東京 大学)	L01-04 ネイチャーポジ ティブ活動の手 引き:ランドス ケープアプローチ 縹瀬 渉 (アミタ HD)	M01-04 新開発の耐気候変 動コメ品種へのアク セスをめぐる利点と 課題:アジアのコメ を事例に 今井 健一 (大阪経 済法科大学)	N01-04 降水量がカリフォル ニア一年生植物の 適応度および競争・ 共存に及ぼす影響 Kenji HAYASHI (ライズ大学)	Q01-04 Effects of enhanced seasonal precipitation on gas exchange of <i>Pinus densiflora</i> seedlings Hee-eun YOON (Korea Univ.)
16:00	H01-05 機械学習モデル搭 載ビデオによるアカ ウミガメの野生下 における採餌行動 の選択的撮影 石山 遥香 (東京大 学)	I01-05 Biodiversity in abandoned oil palm plantation: how much did dung beetle diversity recover after 15-year abandonment? Arief aiman BIN LUKHMANN (Hiroshima University)	J01-05 北海道のエンソジグ ロシロチョウとヤマ トスジグロシロチョ ウは異なる種なの か? 大泰 正揚 (京都先 端科学大学)	K01-05 植物間コミュニ ケーションの代 價:ストレス下 での抵抗性向上と 成長抑制 村山 柊 (新潟大 学・院・自然)	L01-05 湿原再生は学びの 場となりうるか:中 高生による歌才湿 原での伐採活動と その経過 露崎 史朗 (北海道 大学)	M01-05 進化的キースト ーン種の定量 大室 宏平 (東北 大学 大学院)	N01-05 Warming and nitrogen deposition led to contrast response of fine- root traits to neighbor species 孫 麗娟 (蘭州大学)	Q01-05 Effects of Neighbor Identity on Time-Series Biomass Allocation in <i>Arabidopsis thaliana</i> Bo-moon KIM (Kyoto University)
16:15	H01-06 大阪府淀川にお けるバットディテ クターを用いたヒナ コウモリの季節消長 と時空間分布 松浦 健斗 (大阪産 業大学大学院)	I01-06 北極のゼニガタア ザラシの採餌行 動と休息行動 石原 有乃 (総合 研究大学院大学)	J01-06 ハクサンハタザオ における自家不 和合性遺伝子の 進化動態と自殖 シンドローム 須田 峻 (東京大 学)	K01-06 (1) 付着量だけ では不十分:群集レ ベルでの付着種子散 布の量的貢献を評 価する 佐藤 華音 (滋賀県 立琵琶湖博物館,東 京農工大学)	L01-06 伊吹山頂草原植物 群落(天然記念物) の二ホンジカ影響下 10年の変化 野間 直彦 (滋賀県 立大学,近江ウェッ トランド研)	M01-06 大気環境DNAに よる陸上生物多 様性モニタリング 内井 喜美子 (大 阪大谷大)	N01-06 Influence of <i>Cryptomeria japonica</i> dominance on functional diversity and resistance to disturbances in natural and plantation forests Rebecca OSTERTAG (Univ. of Hawaii at Hilo)	Q01-06 樹木成長ととも に増加する力学的 負荷は呼吸増 加を促し成長制 限要因となるか 森 茂太 (山形大 学)
16:30	H01-07 攻撃性の個体間 での非対称性が 集団レベルの摂 食と生存に及ぼ す影響 戸高 倫太郎 (千 葉大・院・融)	I01-07 アジアにおける絶滅 危惧猛禽類の比較 ゲノミクス 内藤 アンネグレート 素 (京都市動物 園,ARRCN)	J01-07 雌雄異株植物オ ニドコロにおける 性決定候補遺伝 子の同定 工藤 葵 (京都市大 学)	K01-07 下関市朝生地区 におけるシイの豊 凶とイノシシの行 動に関する研究 柳井 風花 (山口 大学)	L01-07 里山林床にお ける下草刈りによ る生態系多機 能性への影響 Ziyan CHEN (横浜国立大学)	M01-07 リモートセンシング を活用したTNFD 対応のための自然 資本調達評価手法 の検討 若月 優姫 (国際航 業株式会社)	N01-07 Acute impact of wildfire on tree communities in a seasonally dry tropical forest, northwestern Madagascar Ando Harilalao RAKOTOMAMONJ Y (Kyoto University)	Q01-07 北海道冷帯性落 葉広葉樹40種の 40年の展葉・落葉 フェノロジー変化と その種間差 鈴木 智之 (北海道 大学・FSC)
16:45	H01-08 磁場攪乱装置を装 着した垂成体アカ ウミガメの行動応 答を通じた磁場感 覚の評価 石井 理人 (東京大 学,大気海洋研究所)	I01-08 太陽光発電と風 力発電の統合型 発電施設にお ける鳥類への複 合影響の解明 茨田 匡 (東京都 市大学)	J01-08 オヤマノエンド ウー根粒菌共生 系の系統地理学 的解析と共生能 の評価 西川 いぶき (信 州大学)	K01-08 高山植物ウスユ キトウヒレンの繁 殖形質と種子食 害の関係 鈴木 暁音 (北海 道大学)	L01-08 高層湿地にお ける踏圧がヒメミ ズゴケの炭素蓄積 機能に及ぼす影 響 吉村 謙一 (山形 大学)	M01-08 分子同定のため の新しい塩基配 列類似性検索法 田辺 晶史 (東北 大・院・生命科学)	N01-08 Trees on the move: how climate change affects the functional species composition of forests in Japan Lea VEGH (NIES)	Q01-08 ストレス環境の違 いがフナ黄葉の色づ きの強さとクロロ フィル量の関係を左 右する 小出 大 (国立環境 研究所)

*講演者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/73/oral_index.html>にてご確認ください。

Room	H 共北25	I 共北26	J 共北27	K 共北28	L 共北31	M 共北32	N 共北37	Q 共北38
Time	行動	保全	進化	動物と植物の相互関係	生態系管理	生物多様性	Plant community	植物生理生態
17:15	H01-09 一時的社会寄生性ケアリによる寄主ワーカーに対する母殺教唆 高須賀 圭三(九州大学)	I01-09 野尻湖における水草分布と魚類群集構造からみた魚類への影響評価 立川 優芽(富山大学)	J01-09 盗葉緑体の獲得に至る進化動態 内海 邑(日本大学)	K01-09 ブナ科コジイの繁殖量の年変動は種子捕食者にどのように影響するか? 平山 貴美子(京都府立大学)	L01-09 ディーブラーニングを活用した共生タイプ識別の応用事例 伊勢 武史(京都大学)	M01-09 ロングリードによる飼育水eDNA由来ミトゲノム全長のPCRフリー回収と多型検出 水野 ひなの((株)豊田中央研究所)	N01-09 Decomposing leaf mass into metabolic and structural components explains divergent patterns of trait variation within and among plant species 片淵 正紀(XTBG, CAS)	Q01-09 日射スペクトルの日変動と気象条件の関係が植物応答に及ぼす影響の検討 久米 篤(九州大学)
17:30	H01-10 協同繁殖魚の親がサボるヘルパーを罰するかどうかは群れサイズや個体間の近さで決まる 日高 諒(大阪大・院・理)	I01-10 水草の土壌シードバンクを自然再生で回復させる「マネジメント手法」の提案に向けて 藤原 隆之介(東京大学)	J01-10 スローライフの進化:生活史進化の基本原則の拡張 佐々木 顕(総合研究大学院大学)	K01-10 家畜生産に最適な放牧戦略は植生帯により変化するが降水量では変化しない 吉原 佑(三重大学)	L01-10 流域-海岸連環に基づく砂浜-砂丘の侵食要因の統合解析 中田 康隆(京都府立大学大学院)	M01-10 環境DNAを用いた木本植物上の動物群集調査手法の比較と評価 米谷 衣代(近畿大学)	N01-10 A field experiment on the coexistence of two plant species under resource competition and reproductive interference 篠原 直登(OIST,京都大学)	Q01-10 サクラソウ実生の光合成・生長特性-栽培実験に基づいた検証 石川 真一(群馬大学情報学部)
17:45	H01-11 宿主イソギンチャクの密度が異なるクマノミ個体群間で社会構造と個体間関係の比較 小林 優也(大阪公立大学大学院)	I01-11 選択的草刈による在来種草本保全の試み 飯島 明子(神田外語大学)	J01-11 熱帯樹木における個体内進化:数理モデルを用いた体細胞変異の蓄積動態の推定 富本 創(九州大学)	K01-11 2タイプの雄しべの機能とその背景 横山 碧(奈良女子大学)	L01-11 放牧の空間パターンによる節足動物相の変化とそのメカニズム 王 一勉(横浜国立大学)	M01-11 人工樹洞とeDNA解析で解き明かす熱帯林水棲動物群集の鉛直・時間的変動 井坂 友一(西双版熱帯植物園)	N01-11 A preliminary assessment of phytochemical diversity across Okinawa's landscape Amy Hana MORRELL(OIST Graduate School)	Q01-11 小笠原諸島の亜熱帯低木2種における光合成・蒸散・道管流速と根の呼吸速度の日変化 岸上 奈希(都留文科大)
18:00	H01-12 同調行動の個体差が駆動する集団特性 浜道 凱也(千葉大・院・融)	I01-12 日本沿岸における小型鯨類の分布:環境アセスメントデータを用いたベースライン解析 木村 里子(京都大学)	J01-12 イトヨの海洋型と河川型における高脂肪食に対する内臓脂肪蓄積の反応の違い 陳 柏君(総合研究大学院大学,国立遺伝学研究所)	K01-12 植物の匂いコミュニケーション——遺伝か環境か? 塩尻 かのり(龍谷大学)	L01-12 豪雨の多発は貧酸素海域の底生動物にどう作用するか?~二枚貝の事例~ 折田 亮(佐賀大・農)	M01-12 カンボジア熱帯季節林に見られる Terminalia alataの生態的異型の遺伝子解析 菊地 賢(森林総合研究所)	N01-12 Compare Species Diversity and Community Assembly Processes with Different Regions of Montane Cloud Forests in Taiwan Yan-han WU(National Taiwan University)	Q01-12 鉱山跡地で生育するトドマツの内生菌が関与した鉄耐性機構の解明 春間 俊克(森林総合研究所)
18:15	H01-13 アリの運搬での脚運動の重さへの適応:空中超音波フェーズドアレイによる非接触介入 久本 峻平(明治大学)	I01-13 生態毒性試験は個体群レベルでの化学物質リスクを捉えているのか 都築 洋一(東京大学)	J01-13 Seasonal hourglass in plant transcriptome and epigenome dynamics 西尾 治幾(滋賀大学,京都大学)	K01-13 二種の植食者による被食者がイラクサの刺毛長に及ぼす影響:採食模擬実験による検討 加藤 禎孝(奈良教育大学)	L01-13 東京湾の底生生物群集の20年前と現在 高田 宜武(水産機構水技研)	M01-13 熱帯昆虫多様性は本当に危機にあるのか?タイ南部の長期観測から探る 中村 彰宏(西双版熱帯植物園)	N01-13 Assessing Mass Elevation Effect Across Taiwan's Mountainous Landscapes Yuwen CHEN(National Taiwan Univ.)	Q01-13 日光火山群に生育するコウシンソウの栄養獲得戦略:食虫機能における微生物の役割 鈴木 康太(神奈川大学)
18:30	H01-14 ハンドウイカカのアリとの音声交換にみられる発音重複の成立機構の解明 寺田 知功(東京大学)	I01-14 山口県に生息するニホンヤマネ <i>Gillurus japonicus</i> の冬季の活動 大字根 海人(山口大学)	J01-14 Shifting mycorrhizal partner from <i>Tulasnella</i> to <i>Ceratobasidium</i> is coupled with the gain of crassulacean acid metabolism (CAM) in epiphytic orchids Galih Cherys PUJASATRIA(Kyoto University)	K01-14 イチジク属とイチジクコバチ絶対送粉共生系における共送粉と1対1の再構築 蘇 智慧(JT生命誌研究館,九州大学)	L01-14 鉱山周辺の河川における降雨に伴う重金属濃度の時間変動と水質環境基準の超過 藤田 優里(東洋大学大学院)	M01-14 枝角類 <i>Bosmina tanaka</i> は北方系?日本縦断分布状況と同属普通種との共存 大竹 裕里恵(京都大学)	N01-14 Changes in bryophyte community composition and functional traits along a fog frequency gradient in montane cloud forest of Taiwan Ching-ning YEH(National Taiwan University)	Q01-14 広葉樹におけるBVOC放出と熱放散(DPS)による独立した光防御戦略 辻 祥子(京都大学)
18:45	H01-15 ナカスジハリアリの繁殖行動と近縁種との分布パターン 井上 哉太(東京農工大学)	I01-15 高水温による冷水性魚類フカサギの代謝速度増加と酸欠補いにおける記録的不漁との関連 松崎 慎一郎(国立環境研究所)	J01-15 Inferring Phylogenetic Networks in the Genomic Era Sungsik KONG(RIKEN iTHEMS)	K01-15 クワズイモ(サトイモ科)果序内の滲出液のmicrobiomeの組成 高野(竹中) 宏平(長野県環境保研)	L01-15 複数回測定値を用いたAIによる魚体長推定値のバイアスおよび分散の補正方法の開発 柴田 泰宙(水産研究・教育機構)	M01-15 卵と耳石から考えるクサウオ科魚類の生存戦略 亀井 遥香(東京大学)		
19:00	H01-16 縄張り行動に関連した墨吐き:イカ墨の新たな転用例 細野 将汰(東京大学)	I01-16 オオコウモリゲノムの遺伝的多様性 佐藤 悠(京都大学野生動物)	J01-16 Mechanisms of speciation vary with latitude Jose Said GUTIERREZ-ORTEGA(RIKEN iTHEMS)	K01-16 都市-里山環境傾度の花形質の変化が植物-送粉者群集に及ぼす影響:花色組成に着目して 中田 泰地(九州大学,神戸大学)	L01-16 ヒグマの年齢を『糞』から読み解く~DNAメチル化レベルに基づく新規手法の確立~ 中村 汐里(北大・獣医)			

*講演者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/73/oral_index.html> にてご確認ください。

Room	H 共北25	I 共北26	J 共北27	K 共北28	L 共北31	M 共北32	N 共北37	Q 共北38
Time	Material cycling	保全	菌類・微生物 / Fungi and microbes	Animal population	行動	外来種	進化	動物群集
14:00	H02-01 Effect of litter on silicon cycling in a forest ecosystem - insight from a litter manipulation experiment Ryosuke NAKAMURA (Kyoto University)	I02-01 ハザードが示す生態学: 浸水継続時間によるコイ科産卵適地推定 池上 真木彦 (国立環境研究所)	J02-01 大気と水環境DNAを用いた二次林における菌類多様性の年次および季節変動 前田 拓人 (大阪産業大学)	K02-01 Estimating the duration of conspecific avoidance from GPS tracks could help characterize population-environment relationships: a macaque pilot study Guillaume Pierre michel PERON (LBBE/CNRS (France))	L02-01 不完全な性認識がチョウの行動を規定する 竹内 剛 (大阪公立大学)	M02-01 島間比較で明らかとなった伊豆諸島の国内外来種アズマヒキガエルの生態的特性の違い 馬籠 優輔 (筑波大学)	N02-01 島嶼が大陸集団の動態に果たす役割: シマクイナにおける集団ゲノミクスによる検証 青木 大輔 (森林総研)	Q02-01 群集データから直接的種間関係を同定する: グラフィカルモデルとバイス推定の統合 川津 一隆 (横浜国立大学)
14:15	H02-02 Latitudinal pattern of photodegradation driving aboveground carbon loss Juanjuan ZHANG (IAE,UCAS)	I02-02 半自然草原の制度的位置づけの分析とOECMの適用可能性 野田 顕 (東京都立大学)	J02-02 花の雌雄差と花蜜内微生物群集; 生育地と年による違い 柴田 奈穂 (神戸大学)	K02-02 Examination of amphidromous fish abundance patterns relative to local and regional factors in a river network using environmental DNA 宮園 誠二 (山口大学)	L02-02 ハンミョウの交尾をめぐる雌雄の攻防: メスの入水は交尾延長を回避する戦略か? 篠原 忠 (石川県ふれあい昆虫館)	M02-02 魚の少ない環境でのコクチバスの食性 遠藤 颯太 (富山大学)	N02-02 鳥類の翼筋肉とその操縦性: 種間比較の視点から 猿島 あすか (千葉大・院・融)	Q02-02 Stochasticityの影響を軽減した生態系の状態評価法の提案 石田 拳 (海洋研究開発機構)
14:30	H02-03 Photodegradation of aquatic plant litter in shallow lakes Jin GAO (IAE,UCAS,Nanjing Normal Univ)	I02-03 雨飾山北斜面におけるマメシジミ類の現状と保全上の課題 山本 聡子 (上越環境科学センター)	J02-03 有害赤潮藻類間の増殖相互作用と水温の影響 矢野 諒子 (水産技術研究所)	K02-03 Effects of environmental variability on the temporal Taylor's law of Hokkaido vole density 齊藤 隆 (北海道大学)	L02-03 野生寄主植物で異なるイモソウムシの繁殖形質 日室 千尋 (岐阜大学)	M02-03 外来種モンシロチョウ・アカボシゴマダラの侵入成功要因: 近縁外来種を上回る比成長率 今野 浩太郎 (農研機構 生物研)	N02-03 非対称な気候応答に基づく祖先ニッチの再構築: マカク属 (<i>Macaca</i>) の事例研究 高根 太郎 (東北大学)	Q02-03 表面微地形による外来種・在来種フジツボの加入ニッチおよび個体群動態への影響 姚 遠 (北海道大学)
14:45	H02-04 Spatiotemporal responses of nitrogen and phosphorus stoichiometric imbalance in Japanese lakes and estuaries to wastewater treatment (1998-2022) 周 川喬 (京都大学)	I02-04 古代湖、琵琶湖での環境負荷による食物網への影響: 堆積物記録に基づく評価 榎木 玲美 (松山大学)	J02-04 花蜜内微生物がソバの結実に与える状況依存的な影響 岡田 悠雅 (神戸大学)	K02-04 漁業と気候変動によるマサバ資源の突発的かつ不可逆的な崩壊 西嶋 翔太 (水産機構・水産資源研, UCサンタクルーズ)	L02-04 コウモリによるミソザイの巢利用 小山 里奈 (京都大学)	M02-04 海洋外来種に関する英語文献と日本語文献の知見の比較 Conrad James PRATT (University of Queensland, 東京農工大学)	N02-04 全ゲノムデータからみたニホンイノシシ・リュウキュウイノシシの遺伝的関係 糸井 梨香子 (総合研究大学院大学)	Q02-04 湧水河川の淡水魚類における在来群集から国内外来群集への急激なシフト 福家 悠介 (摂南大学)
15:00	H02-05 Lignin structure regulates terrestrial photodegradation processes and carbon release Jiaojiao DENG (IAE)	I02-05 小笠原諸島煤島における土壌節足動物群集の特性とその保全的価値 岸本 年郎 (ふじのくに環境史ミ)	J02-05 内生菌 <i>Pezicula ericae</i> が産生する isoavenaciol の化学的機能 土山 紘平 (筑波大学・生命環境)	K02-05 A mathematical analysis of the evolutionary dynamics of mimicry rings incorporating predator associative learning 楊 霽 (京都大学)	L02-05 都市近郊の孤立した二次林環境に生息するタヌキの採食植物種と果実分布量との関連 林 翔太 (東京農業大学大学院)	M02-05 高知県における外来海産魚タイリクスズキと在来魚スズキとの交雑 豊澤 拓海 (京都大学)	N02-05 イトヨの染色体融合に伴うテロメアとセントロメアの進化 山崎 曜 (国立遺伝学研究所)	Q02-05 画像解析による魚類群集の高頻度観測 石川 昂汰 (東北大学, WPI-AIMEC)
							動物物生活史	
15:15	H02-06 異なる環境条件における異なる機能群の葉群の最適炭素・窒素動態モデル 城崎 菜乃 (東北大学)	I02-06 北海道東部の防風林景観において絶滅危惧種ゴマシジミはメタ個体群を形成している 榎原 正宗 (兵庫県立大学)	J02-06 Bacterial and fungal communities in tidal Mangrove sediments: impact of tidal zone, plant litter and decomposition time. Juha ALATALO (Qatar University)	K02-06 Impacts of urbanization on personality and thermal physiological traits in Japanese five-lined skink (<i>Plestiodon japonicus</i>). Alexia DEGUARA (Kyoto Univ.)	L02-06 時間経過と採餌エリアの違いは海鳥の採餌場所忠実度にとどのような影響を与えるのか? 片岡 幸大 (名古屋大学)	M02-06 外来社会性昆虫の侵入・分散が加速する中での防除技術開発の高度化 坂本 洋典 (国立環境研究所)	N02-06 血縁情報に基づく局所個体群の個体数および個体群間移住率推定—希少魚アカメでの試行 岸田 岳大 (京都大)	Q02-06 伊勢湾の内湾生物群集構造の変化とゾンドウイカ類の生態履歴復元手法の検討 阿波 望 (水産研究・教育機構)

*講演者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/73/oral_index.html> にてご確認ください。

Room	H 共北25	I 共北26	J 共北27	K 共北28	L 共北31	M 共北32	N 共北37	Q 共北38
Time	Material cycling	保全	Fungi and microbes	Animal population	Behavior	外来種	動物生活史	動物群集
15:30	H02-07 Exploring Soil Microbial and Environmental Drivers of Carbon Emissions in Korean Temperate Forests Amna SAHER (Korea Univ.)	I02-07 絶滅危惧種昆虫 タイワンツバメシジミの保全を可能とするスギ人工林の新しい下刈り方法 西脇 亜也 (元宮崎大学)	J02-07 Scale- and taxa-dependent response of soil bacterial communities to environmental factors across Chinese natural forests 姜 琳子 (中科院大気所)	K02-07 Automated Behavioral analysis of cricket aggression through Deep-learning Deepak Ishwara SHIVAPRAKASH (RCIES, SOKENDAI)	L02-07 翅の食い合いがベアの生存に及ぼす影響: ついに解明されるか、謎の配偶行動 大崎 遥花 (人と自然の博物館)	M02-07 利根川水系におけるチャネルキャットフィッシュの景観レベルでの環境利用 仁部 駿介 (東洋大学)	N02-07 八重山諸島に生息するニオイガエル属の食性 戸金 大 (慶應大学)	Q02-07 日本列島の森林性糞虫の群集構造特性とその規定要因 岸本 圭子 (龍谷大学)
15:45		I02-08 水田の湛水開始時期がサギ類の採餌環境を左右する: 衛星画像による季節変化の解析 安野 翔 (埼玉県環科学七)	J02-08 Forest Age and Environmental Stress Shape Microbial Assembly in Afforested and Reforested Arid Mangrove Ecosystems Alsayeda zahra Jawad SALMAN (Kyoto Univ.)	動物と植物の相互関係 K02-08 種子散布者の糞がもたらす実生の好適な微生物環境 井上 輝紀 (京都大学)	L02-08 採餌に失敗したアデリーペンギンは社会的情報を利用して採餌場所を選択する 今木 俊貴 (総合研究大学院大学)	M02-08 奄美大島の湯湾岳周辺地域の路傍における外来植物の分布特性 坂元 小梅 (鹿児島大学)	N02-08 河川の小空間スケールにおけるオオサンショウウオの生息場特性 松田 裕太 (兵庫県立大学)	Q02-08 捕食者は物理構造の効果を増幅させるか?—樹洞内水生昆虫群集での検証— 新川 颯輝 (東京農工大学)
		遷移・更新						
16:00		I02-09 Multidimensional tropical forest recovery across socio-ecological systems 松尾 智成 (ワーヘンゲン大学)	J02-09 Temporal dynamics of leaf-associated fungal assemblage and function over 30 years in a temperate forest CHANGSALAK Punnat (千葉大・理)	K02-09 二ホンジカの特定期外来生物オオハングソウに対する摂食嗜好性 釜井 菜央花 (宇都宮大学)	L02-09 Fidelity in space use of territorial ungulate, Japanese serow (<i>Capricornis crispus</i>) across seasons. Kushaal SELVARAJAH (TUAT)	M02-09 トラップネットワークを用いた侵入害虫根絶確認法—セグロウリミバエを例として— 本間 淳 (沖縄県病害虫防技セ)	N02-09 2024-2025年のハケ岳東麓におけるキヤヤスデ群遊パターンの時間的空間的な変動 清野 達之 (筑波大学ハケ岳演習林)	Q02-09 亜熱帯二次林における地形と階層構造に対する甲虫群集の反応 代島 泰地 (東京農工大学)
						植物個体群		
16:15		I02-10 大規模森林火災後の更新は栄養繁殖に由来するか: 大船渡スギ人工林の例 小山 明日香 (森林総研)	J02-10 Isolation and functional characterization of root-associated bacteria from a desert shrub <i>Encelia farinosa</i> Mohamed Mutasim ELTAYEB (Tottori Univ., Khartoum Univ.)	K02-10 熱波様の短期的な高温環境は、マルハナバチの学習を含む採餌行動に影響を与えるか? 田附 優美 (奈良女子大学)	L02-10 Anti-predator communication networks in mixed-species flocks Nora CARLSON (The University of Tokyo)	M02-10 サイズ構造行列個体群モデルを生存、繁殖、成長に分解して再構築する方法 松田 裕之 (横浜国立大学)	N02-10 カタクチイワシ仔魚における成長と形態発達の個体間変異が摂餌特性に及ぼす影響 田中 翔大 (東大院農)	Q02-10 住民アンケートを用いた兵庫県内都市周辺の哺乳類分布の経年変化 栗山 武夫 (兵庫県立大学, 兵庫県森林動物研究セ)
16:30		I02-11 ハナノキ林の更新現場を捉える: ハナノキの起源を求めて 広木 詔三 (名古屋大学)		K02-11 クマバチ類の盗蜜が植物の送粉成功に及ぼす影響 笠野 晃司 (近畿大学院農学研究科)	L02-11 データロガーによるクロボシウミビの潜水行動の解明 藤島 幹汰 (東京都)	M02-11 陸域生態系シミュレーションにおける可視化の役割と課題 佐藤 永 (海洋研究開発機構, 東京大学)	N02-11 <i>Tetrasticta laeta</i> (コウチュウ目: ハネカクシ科) の飼育と基礎生態 金尾 太輔 (山形大学)	Q02-11 神奈川県相模原市の市街地における鳥類群集の構造と景観要素 増田 侑太郎 (東京都立大学)
16:45				K02-12 送粉者の訪花頻度が低いギンリョウソウはどのように受粉効率を高めているのか? 楠 実友 (東京農業大学大学院)	L02-12 The landscape of fear in Japan: Assessing the non-consumptive effects of bears on large herbivores Everton Bernardo pereira de MIRANDA (macrecology lab, Tohoku Uni)	M02-12 個体群成長率を超えて: ランダムデザイン生命表反応解析と流れ行列の統合 横溝 裕行 (国立環境研究所)	N02-12 ミジンコ休眠卵生産におけるセラミド代謝関連遺伝子の機能解析 丸岡 奈津美 (宇都宮大学)	Q02-12 羽標本の安定同位体分析から探る沖縄島の鳥類の食性 武山 智博 (岡山理科大学)

*講演者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/73/oral_index.html>にてご確認ください。

Room	F 国際講義室32	G 共南11	H 共北25	I 共北26	J 共北27	K 共北28	L 共北31	M 共北32
Time	S 延長された表現型	S 人と自然 / Human Dimension	S 野生生物の持続可能な利用、取引、採取・捕獲	動物繁殖	Plant reproduction	動物個体群	数理 / Mathematical ecology	Landscape ecology
12:00	F03-01 複雑な生活環を持つ複数の寄生虫は、宿主操作の競合下でいつ共存できるのか？ 仲澤 剛史(国立成功大学)		H03-00 仔稚魚期に速く育ったサバは小型の成魚になっていた 中村 政裕(水産研究・教育機構)					
12:15								
13:00		G03-01 生物観察アプリデータを使って観光客が目当てとするご当地名物の種を探る 渥美 圭佑(株式会社バイオーム、京都産業大学)						
13:15		G03-02 なじみの自然を失うとき:生態学的悲嘆が促す保全行動 若山 茉央(東京大学)						
13:30		G03-03 希少種の宝庫 東海丘陵の湿地が育む生物文化多様性:人と自然とのつながりに着目して 佐伯 いく代(大阪大学)						
		S 人と自然 / Human Dimension	植物個体群	動物繁殖	Plant reproduction	動物個体群	数理 / Mathematical ecology	Landscape ecology
14:00		G03-04 Comparative analysis of soil prokaryotic community structure and function in Ethiopian native Church Forests and adjacent habitats Blazen Endalamaw MEKONNEN (UGASAS, Tottori Univ.,ARARI)	H03-01 ブナ帯に位置する小規模地沼における植物相に関する研究 山岸 洋貴(弘前大学)	I03-01 ずっと見る・こまめに見る:鳥類の巣箱観察のためのタイムラプスカメラシステムの開発 武田 和也(山梨県富士山研)	J03-01 Dioecy in a wind-pollinated herb explained by disruptive selection on sex allocation via inbreeding avoidance Kai-hsiu CHEN (University of Tokyo, University of Lausanne)	K03-01 サンショウウオ属における形態型可塑性の種間比較 福山 伊吹(北海道大学)	L03-01 Counterintuitive pathogen dynamics: The pathogen resurgence under hyperparasitism Guan-yu CHEN (National Taiwan University)	M03-01 Komado Wetland, past crop activities, and current ecosystem disturbances Dahedrey PAYANDI-ROLLAND (東京都立大学)
14:15		G03-05 Impacts of polyacrylamide application on soil loss, soil properties and plant growth Yoseph Buta HAILU (Tottori University, Debre Markos University)	H03-02 ホオノキに確認された集散花序とその機能 高橋 和規(森林総研関西支所)	I03-02 ケリ(チドリ科)幼鳥の自立過程にみられる同種の群れの影響 脇坂 英弥(関西ケリ研究会)	J03-02 Decoding mast seeding: Seasonal gene expression revealed new molecular pathways to understand forest tree reproduction Valentin JOURNE (Kyushu University)	K03-02 温暖化に伴う性比の偏りは北太平洋アカウミガメ個体群の絶滅危惧要因として重要か 加藤 瞳子(東京大学)	L03-02 平均値・中央値の差の検定をどう行うべきか:ノンパラメトリック検定の使いどころ 粕谷 英一(大阪公立大学)	M03-02 Depth-dependent energetic properties of organic matter: linking chemical composition to energy release feasibility and quality in mountain soils Wenting FENG (Beijing Forestry University)
14:30		G03-06 Data-Informed Exploration of a Social-Ecological Network Model for Sustainable Agricultural Practices under Various NGO Engagements Dai-Fang LIN (National Taiwan University)	H03-03 垂直位置の違いがヤエヤマオオタニワタリの種内形質変異に及ぼす影響 丸山 夏鈴(東京農工大学)	I03-03 おっぴいの数と子どもの数:ルールに従うまじめな日本のリスたち 鈴木 圭(森林総研九州)	J03-03 Urbanised landscape and microhabitat differences can influence flowering phenology and synchrony in an annual herb 勝原 光希(岡山大学)	K03-03 スズキの河川回遊を促す淡水域の環境要因:成長に対する基礎生産力の効果 高井 万葉(東京大学)	L03-03 時系列データからの相互作用強度の推定方法:検証と修正 三木 健(龍谷大学)	M03-03 台湾のIBAにおける太陽光発電拡大と渡り性シギ・チドリ類の多様性への影響 林 大利(台湾大学)
14:45		G03-07 Cultural vitality, ecological resilience and environmental justice. A case study from Indigenous communities in the Sierra Norte de Puebla, Mexico Justyna OLKO (University of Warsaw)	H03-04 環境傾度に沿った個体群とその個体群行列モデル 島谷 健一郎(統計数理研究所)	I03-04 イトヨ野生集団における繁殖形質の季節的動態 川本 麻祐子(東京大学)	J03-04 Pre-pollination reproductive isolation mechanism among three sympatric <i>Tricytys</i> species in southwestern Japan. 渡部 俊太郎(鹿児島大学)	K03-04 都会のネズミほど貪食?飲食店街におけるドブネズミの出現とゴミ集積方法の関連 島村 夏波(東洋大学大学院)	L03-04 位相振動子モデルによる二ホンアマガエルの同期発声戦略の実験的解析 古川 温馬(京都大学)	M03-04 Modeling tree loss disturbance and protected area vulnerability in Japan: A multi-factor Random Forest Approach Amit Kumar BATAR (NIES)

*講演者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/73/oral_index.html>にてご確認ください。

Room	F 国際講義室32	G 共南11	H 共北25	I 共北26	J 共北27	K 共北28	L 共北31	M 共北32
Time		S 人と自然 / Human Dimension	植物個体群 / Plant population	動物繁殖 / Animal reproduction	植物繁殖	動物個体群	数理	景観
15:00		G03-08 長野県北部の人里周縁部で捕獲されるツキノワグマの年齢特性とその変化 黒江 美紗子 (長野県環境保全研究所)	H03-05 植物の防御形質の都市-田舎クラインの数理モデル:自然淘汰、遺伝子流動、遺伝的浮動 三宅 慶典 (東京都立大学)	I03-05 精子テロメア長から読み解くサラマスの繁殖戦略 山本 俊昭 (日獣大)	J03-05 クズの花粉サイズは、標高・緯度・開花フェノロジーによって異なるか？ 中村 結和 (東京都立大学)	K03-05 共生細菌はホストの絶滅をもたらすのか:オス殺しを伴う個体群動態モデル 堀田 淳之介 (東京都立大学)	L03-05 感染の波動は人々の活動性と流行の結合ダイナミクスによる 巖佐 庸 (九州大学)	M03-05 農地・都市景観でのクマの出没・遭遇リスクを景観連結性に基づいて予測する 広部 康太 (北海道大学)
15:15		G03-09 森林保全のためのエコツーリズムが地域社会に及ぼす影響:マダガスカル東部の事例から 増田 初希 (京都大学)	H03-06 種子の海水浮遊能力が異なる海浜植物の海流分散シミュレーションによる集団構造推定 秋本 香奈子 (お茶の水女子大学)	I03-06 内部共生性二枚貝イソナマココノワズキン(ウロコガイ科)の繁殖生態と生活環境 小柴 隆広 (近畿大学)	J03-06 ミヤマリンドウの雪解け傾度に沿った繁殖特性変異は山域間で同調しているか？ 佐藤 海晴 (北大・環境科学)	K03-06 福島放射能汚染地域における昆虫群集への ¹³⁷ Cs移行に及ぼす食性と生息環境の影響 佐山 葉 (京都大学)	L03-06 重複感染における競争を通じての寄生者の多種共存 山内 淳 (京都大学)	M03-06 里山における生態系頂点捕食者の分布動態:イヌワシを対象種に 西田 亮 (東北大学)
15:30		G03-10 干ばつへの生態系抵抗性と子どもの栄養不良:生態系機能と人間の健康をつなぐ 柿沼 薫 (東北大学)	H03-07 地理構造が花色型を定め、環境差が中の連続変化を生む:ホタルブクロを例に 張 瑞琪 (東北大学)	I03-07 電場に晒されたスギノキミドリイシの分枝形成促進 名村 有史 (高知大学)	J03-07 多年生草本ハクサンハタザオへのウイルス感染は花への資源投資を増加させるか？ 大坪 雅 (京都大学)	K03-07 ミツバチの放射性炭素と窒素同位体は都市の大気汚染を反映するか？ 兵藤 不二夫 (岡山大学)	L03-07 間接効果は植食者のスペシャリスト/ジェネラリスト/バランスにどう影響するか？ 難波 利幸 (大阪公立大学)	M03-07 人口減少下でのスマート農業の普及が景観パターンと生態系サービスに及ぼす影響 石黒 平 (東京大学)
15:45		G03-11 環境DNA分析と食活動を用いた包括的な生物多様性教育の実践と効果検証 佐賀 達矢 (神戸大学大学院発達)	H03-08 Genetic structure in plant-soil feedback leads to different successional outcomes Shiang-chi HUANG (Taiwan Univ.)	I03-08 なわばりvsスニーカー:代替繁殖戦略の時間投資ゲーム 酒井 理志 (東京都立大学)	J03-08 雌雄異株植物の結実に花粉の質的制限は生じるか？ 星野 佑介 (東北大学)	K03-08 グルタミン酸の脱アミノ反応に伴う窒素同位体分別:食物網生態学への潜在的な重要性 石川 尚人 (海洋研究開発機構)	L03-08 ストレス環境下の生物群集における形質応答の一般則と生態進化動態の基本定理 田中 嘉成 (上智大学)	M03-08 栃木県田んぼまわりの生き物調査データを用いた水田生態系の安定性解析 吉田 晴 (帯広畜産大学)
16:00		G03-12 京都府立植物園における日本産絶滅危惧種の生息域外保全と「植物生態園」の長期的管理 三俣 延子 (同志社大学 経済学部)	H03-09 Landscape genetics of a carnivorous pitcher plant and its arthropod metacommunity David ARMITAGE (OIST)	I03-09 The evidence that juvenile hormone regulates male dimorphism in <i>Amantis nawai</i> Zih-ting CHANG (National Taiwan University)	J03-09 近年発生したタケノコ類の広域開花の実態 小林 慧人 (森林総研関西)	K03-09 流域生態系の栄養バランスを診断するマルチ同位体統合モデル:リン酸窒素同位体の適用 石田 卓也 (広島大学)	L03-09 最大情報エントロピー法に基づく種個体数分布動態の数理モデル 梅村 界渡 (神戸大学)	M03-09 地すべり地が育む水辺の生物多様性:農業用ため池を通してその要因を探る 大関 佑弥 (水辺カオス)
16:15		G03-13 Species Scapeが映し出す異なる環世界:生態学者と分類学者の生物多様性認識の断絶 林 亮太 (日本工営(株))	H03-10 Spatial and seasonal variation in eelgrass in Furen and Notsuke Bay, Hokkaido Matthew vincent Geroso TABILOG (Hokkaido Univ.)	I03-10 Which factors influence reproductive mode shifts in paedogenetic gall midges? 矢野 文士 (鹿児島大学)	J03-10 サザ属子マキザサ節における小面積開花の繁殖成功率:一斉開花と比較して 小川 りさ (山形大学)	K03-10 貧栄養塩河川では動物が窒素リサイクルを促進する!? 宇野 裕美 (東北大学)	L03-10 適応度関数の切り替わりに注目した個体間の競争の進化 伊藤 公一 (同志社大学)	M03-10 衛星画像では判別できない「ちょっと深い」海域の海藻場分布を推定する 仲間 雅裕 (北海道大学)
16:30		G03-14 マラウイ湖国立公園での新利用:持続可能性の30年変遷 林 珠乃 (龍谷大学)			J03-11 マレー半島低地熱帯雨林の共存樹種における形質間関係のサイズ変化 飯田 佳子 (森林総研)	K03-11 山形県月山の樹林帯の積雪中の窒素循環 小野 誠仁 (京都大学)	L03-11 シダ植物のF統計量 - 生殖様式・空間等の影響 別所 和博 (埼玉医科大学)	M03-11 AI-Based Analysis of Changes in Homestead Woodlands in the Tonami Plain, Toyama, Japan 川東 夏子 (京都大学)
16:45		G03-15 市民の報告に見る哺乳類の動態:10年間のロードキル記録1万件の社会・生態学的分析 神宮 翔真 (森林総合研究所)				K03-12 国・都道府県単位で見た未利用肥料資源の賦存量とその農業での再利用 三島 慎一郎 (農研機構)	L03-12 近くにいる相手としか交尾しない集団ではセクシな息子は生き残れるか？ 佐藤 一憲 (静岡大学)	M03-12 海外との協働で展開する環境教育 畑田 彩 (京都外国語大学)

参加にあたって

大会受付に関して

- 会場では名札を必ずつけてください。
- 名札は各自で大会プラットフォームより印刷し会場にご持参ください。名札を持参された方は受付不要です。
 - 名札を忘れた際は、受付にて携帯か PC の画面で名札または参加証（大会プラットフォームらくらくカンファレンスよりダウンロード可能）をご提示ください。
- 名札ホルダーは、普段お使いのものやご自身でお持ちのものをご持参ください。大会でも再利用の名札ホルダーを準備しておりますが、お帰りの際に必ず受付や回収 BOX へのご返却ください。
- 当日参加も可能です。オンライン上で申し込み後、受付にて名札または参加証を画面提示してください。

クロークに関して

- お荷物をお預けの際には、係よりクローク札をお渡しいたします。クローク札を紛失すると荷物の引き渡しはできません。荷物をお引き取りの際には、クローク札を係の者へお渡し願います。
- 貴重品、壊れもの、生鮮品等（要冷蔵・冷凍品を含む）を含む荷物はお預かりできません。また、盗難、紛失及び破損等の責任は負いかねます。
- 傘は他の荷物とまとめていただきますようお願いいたします。
- 終業後は翌朝まで荷物の引き渡しができません。翌朝までクロークは無人となります。京大会場の最終日（13日）の終業時に残された荷物を国際会館の大会本部に移動します。
- 火災や地震発生等の非常時にはクロークは閉鎖いたします。

ミキサー（懇親会）

14日夜、京都国際会館にて実施します。皆様奮ってご参加ください。

- 事前の参加申込み等は必要ありません。
- キッチンカーを手配しての各自購入形式で実施します。
- 飲食物の持ち込みも自由です。
- お子様連れでのご参加も大歓迎です。

休憩室・飲食・ゴミに関して

京大吉田キャンパス南構内

- 共北 22、共北 35、4 号 10 の 3 カ所を休憩室として、共北 1F ラウンジ を休憩スペースとしてご利用可能です。
- 大学周辺、特に百万遍交差点辺り（会場から徒歩 10 分）には、コンビニやレストランが多くあります。
- コンビニ等で購入したものを持ち込んで会場内での飲食も可能ですが、ゴミは各休憩室に設置するゴミ箱に捨て、発表会場周辺に大学が設置しているゴミ箱には捨てないでください。

国立京都国際会館

- Event Hall 2 階 Annex Hall を休憩スペースとしてご利用可能です。
- 館内にはレストラン「[The Grill](#)」（営業時間 10:00-17:00、ランチタイム 11:00-15:00、ラストオーダー 16:30）がありますが、会場周辺のレストランは少ないので、昼食はコンビニ等で前もって購入して持ち込むか、キッチンカーの利用を推奨します。
- キッチンカーは、14 日は 11:00-19:00、15 日は 9:00-16:00 の間、正面玄関前に設置されます。
 - おにぎり・ハンバーガー・たこ焼き・スイーツなど 8 台が設営される予定です。
 - 14 日の 17:00-19:00 はアルコールの提供もあります。夜のミキサー時にもご利用ください。
 - キッチンカーでご購入いただいた商品のゴミは、なるべくキッチンカーまでお戻しくください。会場に置かれているゴミ箱もご利用いただけますが、きちんと分別してお捨てください。

会場の Wi-Fi 環境

- 京大吉田キャンパス南構内：基本的に [eduroam](#) が利用可能です。eduroam アカウントをお持ちの方は、ご利用いただいて構いません。なお、eduroam アカウントをお持ちでない場合でも、大会側では特に対応しません。
- 国立京都国際会館：全館で[無料 WiFi \(ICCK Public WiFi\)](#) が利用可能です。連続しての接続は 60 分までです。

※会場の電波状況・接続環境を保証するものではありません。大会側では Wi-Fi 環境に関するいかなる要望にも対応いたしかねます。

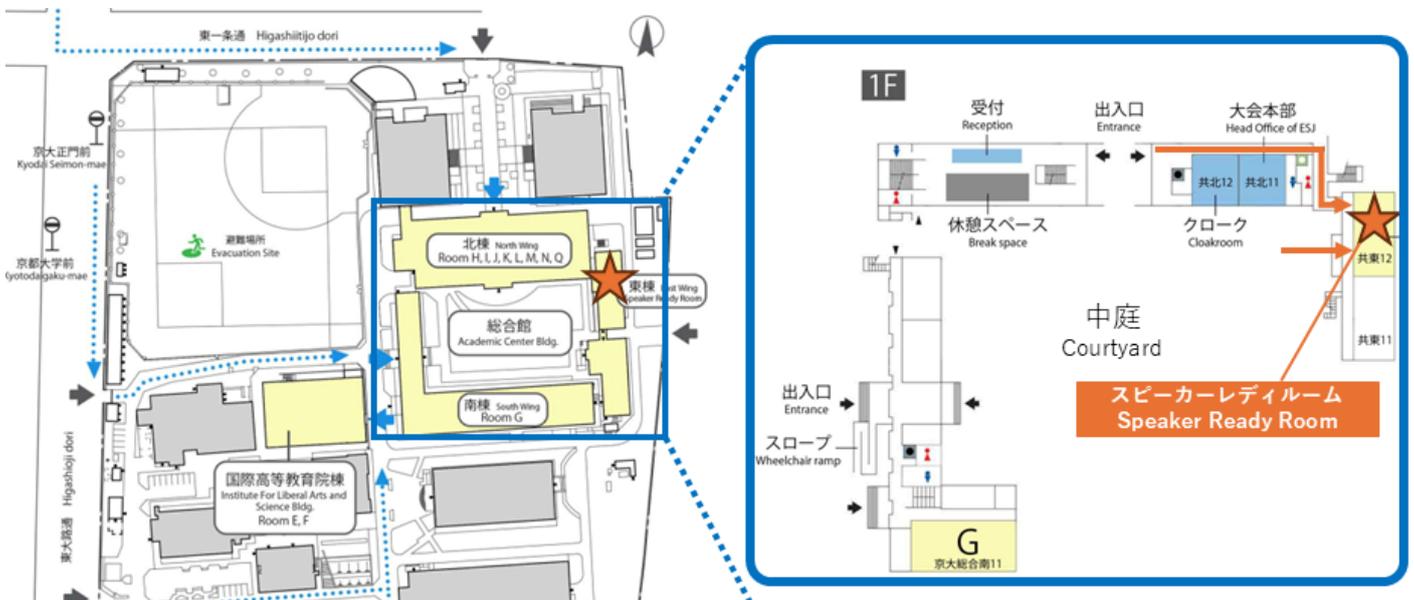
場内設備の開設時間

	3月11日(水)	3月12日(木)	3月13日(金)	3月14日(土)	3月15日(日)
会場	12:00-19:30	8:30-20:45	8:30-19:00	8:30-19:45	8:30-18:00
受付	12:00-18:00	8:30-18:00	8:30-18:00	8:30-18:00	8:30-15:00
クローク	12:00-19:30	8:30-20:45	8:30-19:00	8:30-19:45	8:30-18:00
ファミリー休憩室	12:00-18:00	8:30-18:00	8:30-18:00	8:30-18:00	8:30-15:00
休憩室	12:00-18:00	8:30-18:00	8:30-18:00	8:30-18:00	8:30-15:00
企業展示	-	-	-	11:00-19:30	9:00-17:00

発表にあたって

口頭発表

- 口頭発表の発表は、いずれも会場に設置されている発表用 PC を使用します。持ち込んだ PC での発表はできません。発表用 PC の OS は Windows 11、PowerPoint または PDF が使用可能です。
- 動画は MP4 形式が再生可能です。他形式は保証いたしかねます。
- 発表者は会場内に設置されるスピーカーレディルーム（総合館1階東棟の共東12）にて事前に、発表用の PowerPoint, PDF ファイル等を発表用 PC へとご自身で登録していただく必要があります。
 - 発表ファイルを入れた USB メモリ、CD-R 等ご用意の上、スピーカーレディルームにお越し下さい。
 - 指定された登録時間に発表ファイルを登録してください。
 - 3月11日発表者：当日 12:00-14:00
 - 3月12日発表者：当日 10:00-12:00
 - 3月13日発表者：当日 10:00-12:00
 - 公募セッション分野の発表：**前日 3月12日 10:00-12:00**
 - 登録時間内であれば、発表ファイルの差し替えは可能です。



- 講演時間は、発表 12 分、質疑応答 3 分の合計 15 分です。時間を厳守してください。10 分、12 分、14 分 30 秒で 1、2、3 鈴を鳴らします（動画公演の場合は質疑応答開始後 2 分 30 秒で 3 鈴）。
- 会場のスクリーン・プロジェクターは、縦横比が 4:3 の規格に適應しています。ワイド画面（16:9）だと文字が小さくなる・一部表示されないおそれがあります。
- 口頭発表では、英語セッションを含め、前の講演者に次の講演の座長を担当していただきます。最初の座長は会場係が担当します。
- 英語発表者への粗品進呈は、受付にて対応いたします。発表終了後に発表会場にて、引換券を受領いただいたのちに早めに受付にお越しになり、粗品と引き換えるようにしてください。粗品の引き換えは大会期間中のみの対応となり、大会終了後の対応はできません。
- 希望者は、自身で録画した発表動画を大会プラットフォーム上で配信する「セルフ・オンデマンド配信」を利用可能です。詳細は、大会ウェブサイトをご覧ください。なお、**当日録画はいかなる形でも不可**とします。事前あるいは大会後に、各自でご収録ください。

ポスター発表

- ポスター会場は、3 月 14 日は午前 11:00 に、3 月 15 日は午前 9:00 に開場します。
- オンサイトでのポスター発表者は、発表日が 3 月 14 日の方は当日 11:00-12:00 の間に、発表日が 3 月 15 日の方は当日 9:00-10:00 の間にそれぞれポスターの掲示を行ってください。
- ポスターボードにはポスター番号札（P1-001、P2-001 など）が貼られていますので、該当する番号札が貼られているポスターボードを探して、ポスターを掲示してください。
- ポスターを貼るための画鋏は持参してください。例年、会場周辺では品薄になりますので、ご注意ください。
- コアタイムは、ポスター番号が奇数の発表は前半（12:00-13:00）、偶数の発表は後半（13:00-14:00）です。
- コアタイム中はポスター前で参加者に対して説明をしてください。
- ポスターの撤収は、3 月 14 日に発表される方は当日 19:30 までに、3 月 15 日に発表される方は当日 17:00 までに必ず行ってください。
- なお、最優秀賞受賞ポスターは 3 月 14 日 19:30 から 3 月 15 日 14:00 まで専用スペースに貼り出されます。

育児支援

託児室

会場内に託児室を設けます。ご利用は事前申込みされた方のみです。

ファミリー休憩室

お子様連れの参加者のために、ファミリー休憩室をご用意しております。ご予約は不要です。お子様とご一緒にお食事を楽しんだり、ゆったりとおくつろぎください。

開設時間：8:30～18:00

(ただし、初日 11 日は 12:00～、最終日 15 日は～15:00)

京都大学吉田キャンパス：総合館北側 3 階の共北 3D

京都国際会館：Room 101

授乳室

京都大学吉田キャンパス：ファミリー休憩室の 2 つ隣の部屋に開設

京都国際会館：会場内に館内設備として授乳室が設置済み

おむつ替えコーナー

京都大学吉田キャンパス：国際高等教育院棟 1 階の多目的トイレでは、おむつ替え用の設備が設置されています。

京都国際会館：男性用、女性用どちらのトイレにも、おむつ替えコーナーが設置されています。

[【育児支援版地図】\(PDF\)](#)

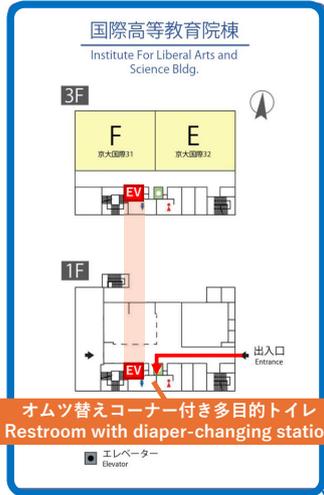
子連れマップ：京都大学吉田南キャンパス

京都大学 会場案内図
Kyoto University Floor Map

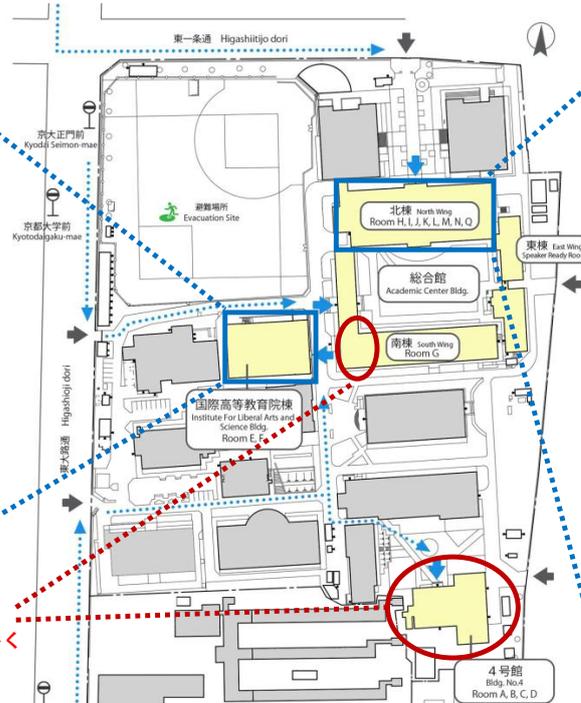
育児支援版

吉田南キャンパス内は平坦。
バス停から会場までや会場内の建物間はベビーカーで移動可能

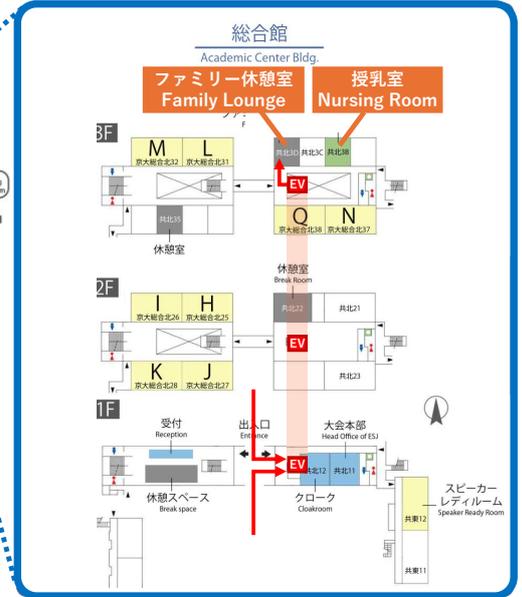
オムツ替えは
国際高等教育院棟 1階の多目的トイレへ



4号館のroom-A,B,C,D、
総合館南棟のroom-Gは
会場となる部屋内外に階段が多く
ベビーカーはやや大変
(エレベーターは設置)



ファミリー休憩室や授乳室は
総合館北棟東側のエレベーターで3階へ上がり右手



11-13日：京都大学吉田南構内へのアクセス

1. **地下鉄烏丸線＋市バス**：烏丸線沿線なら、今出川駅で市バスに乗り換えるのが、混雑せず便利です。
 - 地下鉄烏丸線に乗車（京都駅・四条界隈からだ「国際会館 行」）し、「今出川駅」下車。
 - 南改札から今出川駅出口3を出て、左手30mの「烏丸今出川」東行きバス停で、以下のいずれかに乗り換え。
 - 市バス 201系統「百万遍・祇園 行」 に乗り「京大正門前」下車、徒歩約5分。約10分に一本。
 - 市バス 203系統「銀閣寺・錦林車庫 行」 に乗り「百万遍」下車、徒歩約10分。約10分に一本。
2. **京阪電車**：鴨川周辺や伏見方面からは、京阪電車が便利です。
 - 京阪本線「出町柳行き」に乗り「出町柳駅」下車。出町柳駅出口7を出て、徒歩約15分。
3. **hoopバス**：京都駅からは、[hoopバス](#)が混雑せず便利です。反時計回りの周回ルートのため、京都駅・烏丸御池以外からの利用時は注意。
 - 京都駅八条口から乗車し約30分、「京都大学前」下車、徒歩約5分。朝は15分に一本、日中は30分に一本。
4. **地下鉄東西線＋市バス**：二条方面、山科方面（JR線との接続があります）からのアクセスに便利です。
 - 地下鉄東西線に乗車し、「東山駅」下車。
 - 出口2を出て左手80mの交差点斜め向かい「東山三条」北行きバス停から、以下のいずれかに乗り換え。
 - 市バス 201系統「百万遍・千本今出川 行き」 に乗り「京大正門前」下車、徒歩約5分。約10分に一本。
 - 市バス 206系統「高野・北大路バスターミナル 行き」 に乗り「京大正門前」下車、徒歩約5分。約10分に一本。

14-15日：国立京都国際会館へのアクセス

- **地下鉄烏丸線**：「国際会館行き」に乗り終点「国際会館駅」下車。国際会館駅出口4-2を出て、徒歩約5分。
 - 市バス 5、31、65系統、京都バス特 16、特 17系統でもアクセス可能。ただし、運行本数少なめのため要注意。

その他

配信に向けた会場での録画について

本大会では、オンデマンド配信にあたって、大会企画・各種集会を録画しています。以下の内容についてご理解・ご同意の上ご参加ください。

- ・ オンデマンド配信の対象となる企画は、**質疑応答を含め全て録画**されます。
- ・ 会場にカメラを設置して録画するため、動画には**会場の様子**が入る可能性があります。

災害時の避難所

災害時の避難所等の情報については、以下の情報をご活用ください。

- ・ [京都市 Web 版ハザードマップ](#)
- ・ [京都市左京区ハザードマップ \[PDF\]](#)

大会行動規範

大会参加者全員に以下の行動規範の遵守をお願いしています。

第 73 回日本生態学会年次大会参加者は、大会への参加にあたり、以下の行動規範を遵守する。大会運営スタッフや他の参加者から迷惑・違反行為をやめるよう求められた場合、直ちにこれに応じる。

1. **差別的言動の防止と個人の人格の尊重**：大会参加者は、出自・人種・民族・宗教・身体的特徴・年齢・地位・性別・性的指向・障害の有無など個人の属性によって個人を差別せず、個人の人格を尊重する。
2. **ハラスメント行為の防止**：他の参加者の活動やキャリアに害を与える行為、特定・不特定多数を問わず不快な想いをさせる行為、それらを助長する行為を含むあらゆる形態のハラスメント行為を行わない。
3. **撮影・録音に関する違反行為**：大会会場において、発表者の承諾なしに写真撮影・音声録画・動画配信を行わない。大会プラットフォーム上にて、スクリーンショット撮影を行わない。オンデマンドにて配信される動画を、参加者以外の第三者に視聴させない。未発表の研究内容について、発表者の承諾なしに SNS 等で公開しない。

大会組織

大会企画委員会

企画委員長	門脇浩明
企画副委員長	北村俊平
運営部会	伊藤公一、太田菜央、小黒芳生、池川雄亮、森井悠太、松田一希、橋本洸哉、小林卓也、立木佑弥、田邊晶史
シンポジウム部会	槻木玲美、今藤夏子、佐藤永、石塚真太郎、栗和田隆、楊偉、大久保祐作、亀山慶晃、武田和也、今田弓女、田村大也、平田晶子
ポスター部会	松村健太郎、池上真木彦、小林慶子、清野達之、青柳亮太、長谷川成明、永濱藍、田路翼、松葉史紗子、山口諒、高木俊人、石原凌、西澤啓太、湯本原樹、増本翔太
ジュニアポスター部会	辻冴月、大竹裕里恵、松本哲也、宮崎祐子、井上智美、佐藤安弘、川津一隆、矢追雄一、榎本孝晃、山崎曜
発表編成部会	大庭ゆりか、大崎晴菜、福井翔、設楽拓人、木下豪太、吉岡明良、片山直樹、駒田夏生
英語セッション部会	安立美奈子、吉村謙一、瀬戸繭美、Jamie M. Kass、鄭峻介、今田弓女、内田義崇、辻井悠希、徳田誠、境優
オンライン部会	山北剛久、柴田嶺、深谷肇一、大崎晴菜、松本哲也、榎本孝晃、安立美奈子、吉村謙一、太田菜央、伊藤公一

大会実行委員会

大会会長	大手信人
実行委員長	土居秀幸
実行副委員長	小野田雄介
会計	黒川紘子、辰巳晋一
プログラム	大庭ゆりか
会場	陀安一郎、阿部真人、村山美穂、松浦健二、西田貴明、東樹宏和、今田弓女、三谷曜子、阪口翔太
ポスター	辻冴月、下野嘉子、青柳亮太
協賛	畑田彩、市岡孝朗
受付	永野真理子、檀浦正子、時任美乃理
クローク	渡辺勝敏
ミキサー	山崎理正、高梨聡
託児室	半場祐子、徳地直子、東樹宏和
アルバイト	小山里奈、大園享司、丹羽英之
ウェブ	松田一希、石原正恵
オンライン	松岡俊将、長谷川元洋
危機管理	大手信人、土居秀幸、小野田雄介

協力・貢献

大会イラスト制作	Brenda de Groot
エコカップ2026	大河龍之介、井上輝紀
実行委員会	